

What's New From ASCIKU

関西大学科学技術振興会 No.15 January 2009

当会の寄附講座 講師と受講生の交流会を開催 1月24日(土)

理工系初の寄附講座―「ものづくりの現場から基盤技術を学ぶ(関西大学科学技術振興会 寄附講座)」が、関西大学大学院工学研究科 平成20年度秋学期の特別講義として、主として関西の製造業(14社)から講師を招き、リレー形式で土曜日毎に開講しました。

受講生は、機械工学および先端マテリアル工学分野の大学院生9名でした。

毎回取り上げるものづくりの現場の実例が異なり、各講師が意欲的に語るものづくりの取り組みが直接伝わる実践的講義が実現しました。

最終開講日のH21.1.24(土)に講師と受講生との交流会が、内山機構長・土戸前工学研究科長、および寺内振興会会長をはじめ関係の教員など参加のもと開催され、さらなる交流を深めました。



平成20年度関西大学科学技術振興会寄附講座 講師と受講生の交流会 09/1/24(土) 関西大学 100周年記念会館「桃源」

寺内 大阪冶金興業社長
森合 森合精機常務取締役
八木 八田工業技術顧問
奥村 塚谷刃物製作所取締役
松下 松下金属工業社長
松林 マツバヤシ社長
川村 川村義肢社長
村椿 スキノマシン研究開発部長
田中 産学官連携コーディネーター

安達 システム工学専攻機械工学分野
上田 システム工学専攻機械工学分野
加藤 システム工学専攻機械工学分野
棕橋 システム工学専攻機械工学分野
小槻 システム工学専攻機械工学分野
米田 システム工学専攻機械工学分野
湯浅 システム工学専攻先端加工工学分野
西澤 システム工学専攻先端加工工学分野
小林 工学部先端マテリアル工学科

内山 先端科学技術推進機構長
土戸 前大学院工学研究科長
杉本 化学生命工学部教授
北嶋 システム理工学部教授
小林 化学生命工学部教授
倉田 システム理工学部准教授
紀和 振興会副会長
森 社会連携センター次長
本多 社会連携センター事務室

「ものづくりの現場から基盤技術を学ぶ(関西大学科学技術振興会 寄附講座)」まとめ

- 開講日;平成20年度秋学期、土曜日、第4限(14:40~16:10) ○開講場所;尚文館4階405演習室
- 受講者;大学院工学研究科(機械工学および先端マテリアル工学分野)9名
- 講義内容;「ものづくり学概論」、「会社経営とものづくり技術の開発」

1. 「ものづくり学概論」

- ・ものづくりとは、「ものをつくること」ではなく、「ものにつくり込むこと」である。
- ・ものづくり技術とは、生産管理部系の製造技術で、様々な固有技術をつなぎ、顧客へ向かう設計情報の流れをつくる知識である。

2. 「会社経営とものづくり技術の開発」

14回の講義の内容を基に、ものづくりの考え方とものづくり技術を要約したものです。

第1回(9月27日) 大阪冶金興業(株) 代表取締役社長 寺内 俊太郎 氏

- ・歴史に学び、国を意識したものづくり
- ・真空熱処理技術、真空侵炭・窒化処理技術、ロー付けおよび接合加工技術、金属粉末射出成形技術

第2回(10月4日) 森合精機(株) 常務取締役 森合 主税 氏

- ・小さい個人の知を結集して大きな集団の知にするものづくり
- ・洗浄・洗浄度測定技術、切削加工技術、生産管理技術

- 第3回 (10月11日) 八田工業(株) 技術顧問 八木 勲 氏
 ・ 集団の活力を常に引き上げるものづくり
 ・ 真空熱処理技術、イオン窒化処理技術、ワイヤー放電加工技術、刃物製造技術
- 第4回 (10月18日) (株)塚谷刃物製作所 取締役 奥村 彰英 氏
 生産管理部課長 久々宮 信 氏
 ・ 個別ニーズに合わせた最適仕様を追求するものづくり
 ・ 刃物製造技術、高周波処理技術、エッチング加工技術
- 第5回 (10月25日) 松下金属工業(株) 代表取締役 松下 喜八郎 氏
 ・ やったことのないものは、みなできるものづくり
 ・ 抵抗溶接加工技術、曲げ・カット加工技術、研磨加工技術、光軸調整技術
- 第6回 (11月1日) (株)マツバヤシ 代表取締役 松林 良蔵 氏
 ・ 理論と経験の融合したものづくり
 ・ 鋳造技術、環境配慮型銅合金製造技術
- 第7回 (11月8日) (株)棚澤八光社 代表取締役社長 棚澤 肇 氏
 ・ グローバルなネットワークでものづくり
 ・ エッチング加工技術、電鍍加工技術、シボ加工技術
- 第8回 (11月15日) 福田金属箔粉工業(株) 常務取締役 梶田 治 氏
 ・ 伝統産業の意識を捨て、身の程をわきまえたものづくり
 ・ 金属箔粉製造技術
- 第9回 (11月22日) (株)プライオリティ 代表取締役 中野 修 氏
 ・ 企業の技術ネットワークによるものづくり
 ・ バリ処理・エッジ仕上げ加工技術、磁気研磨加工技術
- 第10回 (11月29日) (有)大阪製作所 代表取締役社長 後藤 良一 氏
 ・ ものをつくることは、ものを販売すること (製販システムづくり)
 ・ 微小深穴・微細穴加工技術、マイクロバリング技術、ワイヤー放電加工技術、鏡面切削加工技術
- 第11回 (12月13日) 川村義肢(株) 代表取締役 川村 慶 氏
 ・ 見えないものものづくり
 ・ 義肢装具製作・適合技術、自立支援工学技術
- 第12回 (12月20日) (株)松風 常務取締役 研究開発部長 根来 紀行 氏
 ・ 美・強度・操作性を追求したものづくり
 ・ 歯科材料技術、レジン系材料光重合技術、フッ素除放射性レジン接着修復技術
- 第13回 (1月10日) 松山技研(株) 技術開発室長 野村 博郎 氏
 ・ 「金属に魂を」のものづくり
 ・ 熱処理汎用生産技術、真空熱処理技術、高性能膜成膜技術、耐食性表面処理技術
- 第14回 (1月24日) スギノマシン(株) 執行役員 研究開発部長 村椿 良司 氏
 ・ 「超」に挑むものづくり
 ・ 高圧洗浄技術、超高压技術、塑性加工技術、自動加工システム技術、メカトロニクス技術



第1回寄附講座
大阪冶金興業(株)
寺内 俊太郎社長



講師・受講生の交流会
土戸先生と受講生



講師・受講生の交流会
川村氏と受講生



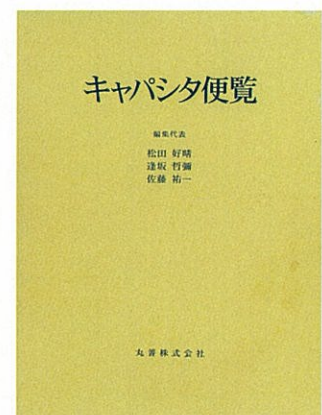
講師・受講生の交流会
村椿氏と受講生

ご案内 特別会員が図書を出版
 特別会員の松田好晴機構研究員が編集代表で、
 石川正司副機構長・化学生命工学部教授が
 編集委員・執筆により、世界で初めての「キャパシタ便覧」(丸善株式
 会社)を出版されました。



松田 好晴先生

松田好晴先生には、第6回研究会 (H20.12.6)
 での「復活、迷?講義」において、「電池とキャ
 パシター過去と未来」の演題でご講演を戴き
 ましたが、本著の中で「キャパシタの歴史」に
 その際の内容が一部記載されております。
 1章・概論 2章・電解キャパシタ(ロゲル) 3章・セラミック
 (積層) 4章・電気二重層キャパシタ 5章・フィルムキャパシ
 タ 6章・キャパシタの高密度実装およびその他のキャパシタ
 7章・キャパシタ応用システム 8章・キャパシタ新技術
 資料編除く473ページ 定価(本体68,000円+税)



振興会のホームページ <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/sinkokai/index.html>
 関西大学 HP ; 社会との連携 * 先端科学技術推進機構からご覧ください。

ASCIKU 関西大学科学技術振興会
 Associative Society for the Collaboration between Industries and Kansai University